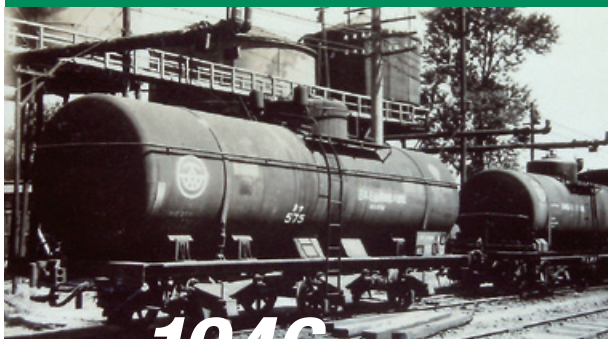




SINCE 1946

おかげさまで、2021年3月27日
創立75周年を迎えました。



2021

JOT

株主の皆様へ

2021年3月期 報告書

2020年4月1日～2021年3月31日

日本石油輸送株式会社

証券コード：9074

Shift for the Next

安全の徹底と質の高いサービスで 未来への責任を果たします



代表取締役社長

加藤 昌一郎

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第104期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の事業概況のご報告をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

今後のわが国経済は、感染力の強い変異株の流行など、感染症の終息を見通せないなか、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループの事業環境につきましても、本格的な輸送需要の回復には時間を要するとみられ、厳しい状況で推移するものと思われます。

感染症の影響が継続している厳しい状況のもと、当社グループは、大きく変化していく事業環境に対応し、事業基盤の再構築とグループ全体のさらなる成長に向けて、2021年度から2023年度までの中期経営計画を策定いたしました。

同計画においては、基盤事業における収益の維持・確保や、I T活用による業務改革等の生産性向上に努めてまいります。また、成長に向けた取り組みとして、脱炭素社会に向けた輸送需要への対応や、海外輸送の収益力のさらなる向上等を目指してまいります。この結果として、2023年度において、売上高351億円以上、営業利益18億円以上、経常利益19億円以上の達成を目標といたします。

また、事業活動を通じたクリーンロジスティクスの実現への取り組みなど、E S G (環境・社会・ガバナンス) 経営の実践にも努めてまいります。

当社グループといたしましては、本中期経営計画の達成により、強い収益基盤と安定した財務体質のもと、安全・安定輸送による国内ナンバーワンのエネルギー輸送会社を目指し、グループ一丸となって邁進してまいります。

当期の期末配当金につきましては、株主の皆様のご支援にお応えするため会社創立75周年記念配当を実施するものとし、1株につき金60円(普通配当40円、記念配当20円)とさせていただきます。これにより、中間配当金(1株につき金40円)を含めました年間配当金は1株につき金100円となっております。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

第104期決算の概況（連結）

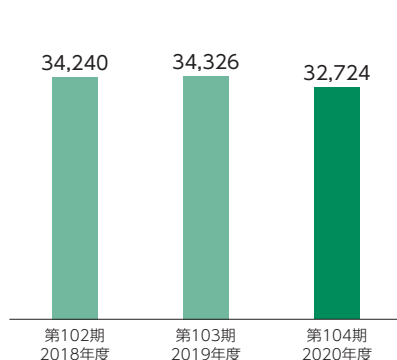
当社グループは、従業員や関係する皆様への感染予防を徹底し、国民の生活や経済活動を守るインフラ企業グループとして、エネルギーや食料品等の安全・安定輸送の継続に尽力いたしました。

この結果、当連結会計年度における売上高は、輸送需要

の減少等により、32,724百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益は1,155百万円（同11.3%減）、経常利益は1,516百万円（同10.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は915百万円（同17.9%減）となりました。

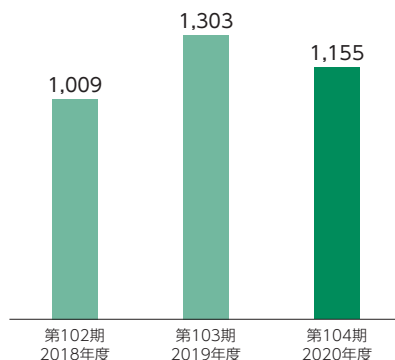
売上高

（単位：百万円）



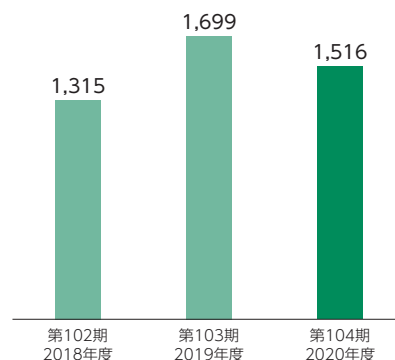
営業利益

（単位：百万円）



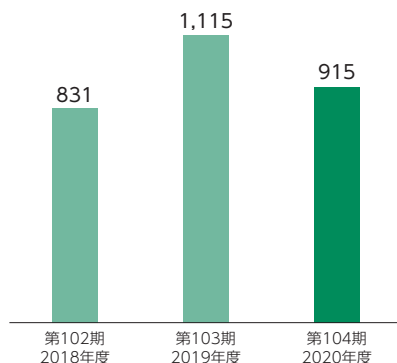
経常利益

（単位：百万円）



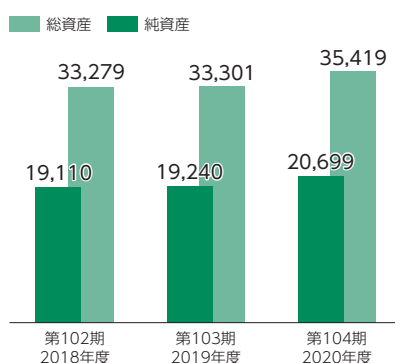
親会社株主に帰属する 当期純利益

（単位：百万円）



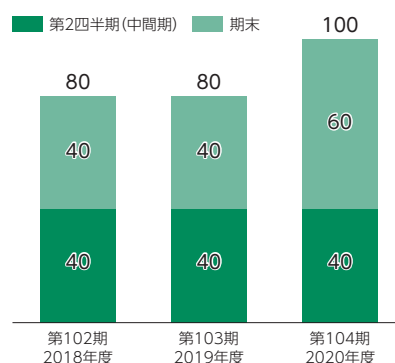
総資産・純資産

（単位：百万円）



1株当たり配当金

（単位：円）

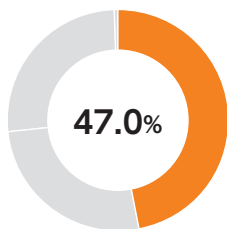


※第104期の1株当たり配当金には記念配当20円が含まれております。

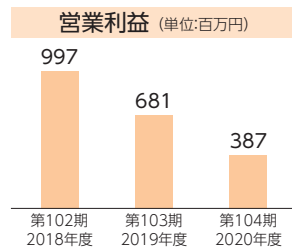
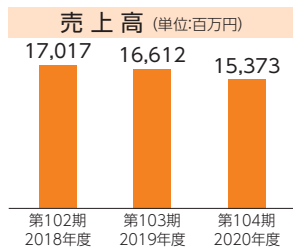
セグメント別の概況（連結）

石油 輸送事業

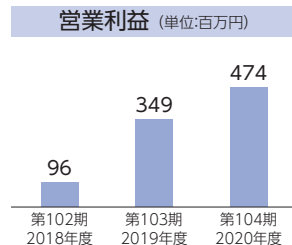
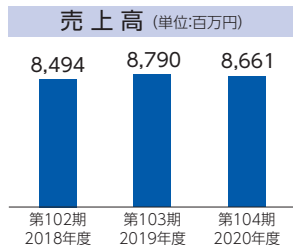
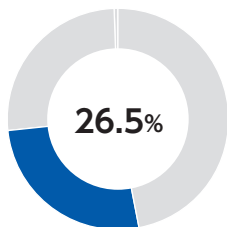
売上高構成比



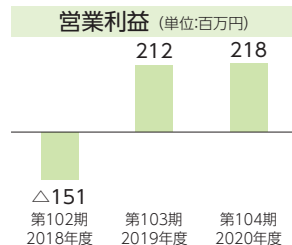
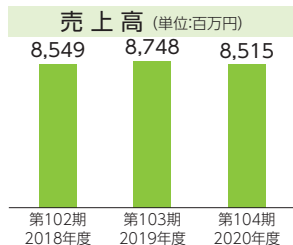
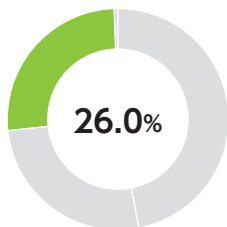
売上高・営業利益の推移



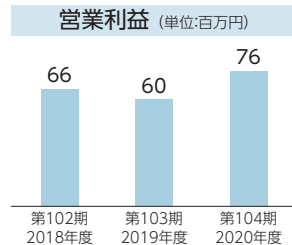
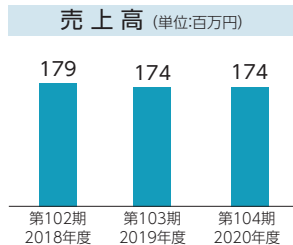
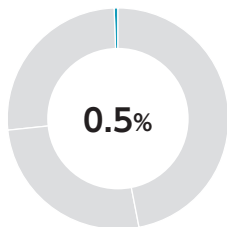
高圧ガス 輸送事業



化成品・ コンテナ 輸送事業



その他 事業



事業内容

環境に優しく、低コストで大量輸送が可能な鉄道タンク車輸送と、機動力があり柔軟性に富んだ自動車輸送という2つの異なる輸送モードを持つメリットを生かし、ガソリン、軽油、灯油等の燃料油の輸送を行っています。



タンクローリーによる輸送と、鉄道用タンクコンテナによる複合一貫輸送を行っています。全国各地のLNG（液化天然ガス）輸入基地および国産ガス田から、お客様のサテライト基地、工場等を結んでいます。



化成品輸送事業は、各種化学品、食品等の液体・粉粒体を輸送する各種コンテナのリースおよび様々な輸送モードを組み合わせた複合一貫輸送を展開しています。

コンテナ輸送事業は、農産品や食料品、工業製品、宅配便等、お客様のニーズに適した各種鉄道用コンテナをレンタル・リースしています。



太陽光発電事業を展開しており、現在、全国4か所にJOTソーラーステーションを設置しています。



当期の概況

売上高 **15,373**百万円 営業利益 **387**百万円

石油輸送事業につきましては、感染症の影響による外出自粛等により燃料油需要が低迷したことに加え、出荷地変更による減収もあり、売上高および営業利益は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は15,373百万円（前年同期比7.5%減）、営業利益は387百万円（同43.1%減）となりました。

売上高 **8,661**百万円 営業利益 **474**百万円

高圧ガス輸送事業につきましては、主要顧客の運賃改定や新規輸送の獲得があったものの、感染症の影響による需要減等により、売上高は減少いたしました。一方、燃料費や人件費等の経費の減少により、営業利益は増加いたしました。

この結果、当事業における売上高は8,661百万円（前年同期比1.5%減）となりましたが、営業利益は474百万円（同35.8%増）となりました。

売上高 **8,515**百万円 営業利益 **218**百万円

化成品輸送事業につきましては、収益の維持に努めましたが、感染症の影響等による国内外の需要の減少や一部主要顧客の販売減により、売上高は減少いたしました。

コンテナ輸送事業につきましては、感染症の影響による需要減や北海道地区における野菜類の生育不良の影響により、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は8,515百万円（前年同期比2.7%減）となりましたが、経費の減少により、営業利益は218百万円（同2.7%増）となりました。

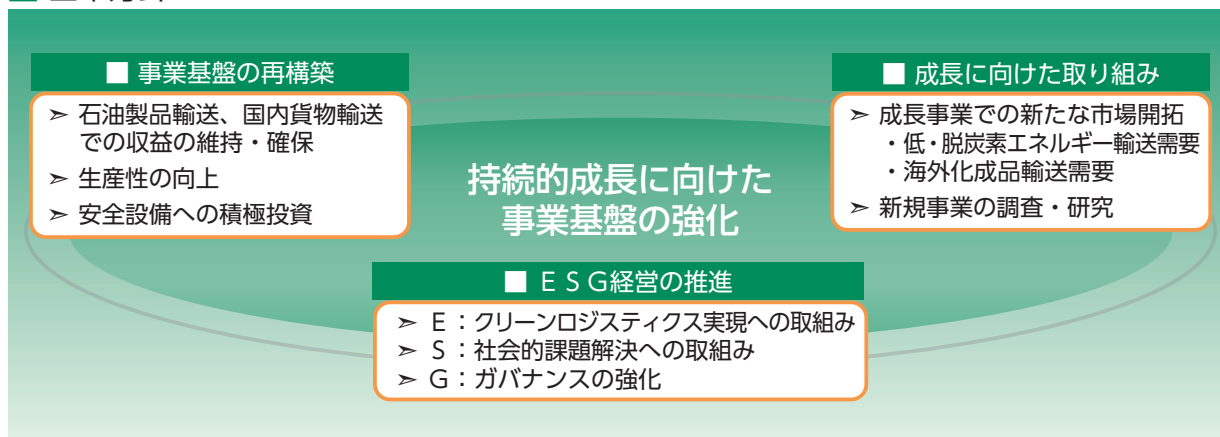
売上高 **174**百万円 営業利益 **76**百万円

太陽光発電事業につきましては、売上高は174百万円（前年同期比0.0%増）となりましたが、点検費等の経費の減少により、営業利益は76百万円（同25.4%増）となりました。

中期経営計画を策定しました

当社は、大きく変化していく事業環境に対応し、持続的成長に向け事業基盤を強化させるために、以下の数値目標および基本方針を掲げ、2021年度から2023年度までの中期経営計画を策定いたしました。

1 基本方針



2 数値目標

	2020年度	2023年度	増減
売上高	323億円	351億円以上	+28億円以上
営業利益	14億円	18億円以上	+4億円以上
経常利益	15億円	19億円以上	+4億円以上
R O E	4.6%	6.0%程度	
投資総額 (3年間)	2020年度 (単年度) 40億円	110億円以上	
1株当たり配当金 (年間)	100.0円 (記念配当20.0円含む)	100.0円	

※中期経営計画の詳細は、当社HP (<https://www.jot.co.jp>) 「IR情報」のページをご参照ください。

JOTグループの事業紹介 コンテナ輸送事業

当社のコンテナ輸送事業は、1984年のコンテナ部設立以来、鉄道貨物輸送用コンテナのレンタル・リース事業を展開しており、その輸送品目は、農産品から食料品、工業製品、宅配便等、多岐にわたります。

お客様の大切な荷物の品質を保つため、事業開始以来投入している保冷・保温効果に優れた冷蔵コンテナ、真空断熱パネル採用でより高い保冷・保温性能を実現したスーパーURや10トントラック相当の積荷が可能なウィングコンテナ等、様々なバリエーションを揃え、多様化するお客様のニーズに合わせたコンテナの開発や改良に努めてきました。

また、レンタル事業においては、必要なときに、必要なコンテナを、必要なだけご利用いただける体制を構築すべく、集荷先の最寄りの貨物駅でコンテナを提供し、配達先の最寄りの貨物駅で返却できる「レンタルコンテナシステム」を採用しています。

今後も断熱性能や容積の向上、軽量化等、更なるコンテナ開発を進め、お客様のニーズにお応えするとともに、環境優位性のあるコンテナ輸送事業を通じてCO2排出量を減らすなど、クリーンロジスティクスの実現に向け全力で取り組んでまいります。



冷蔵コンテナ



スーパーUR

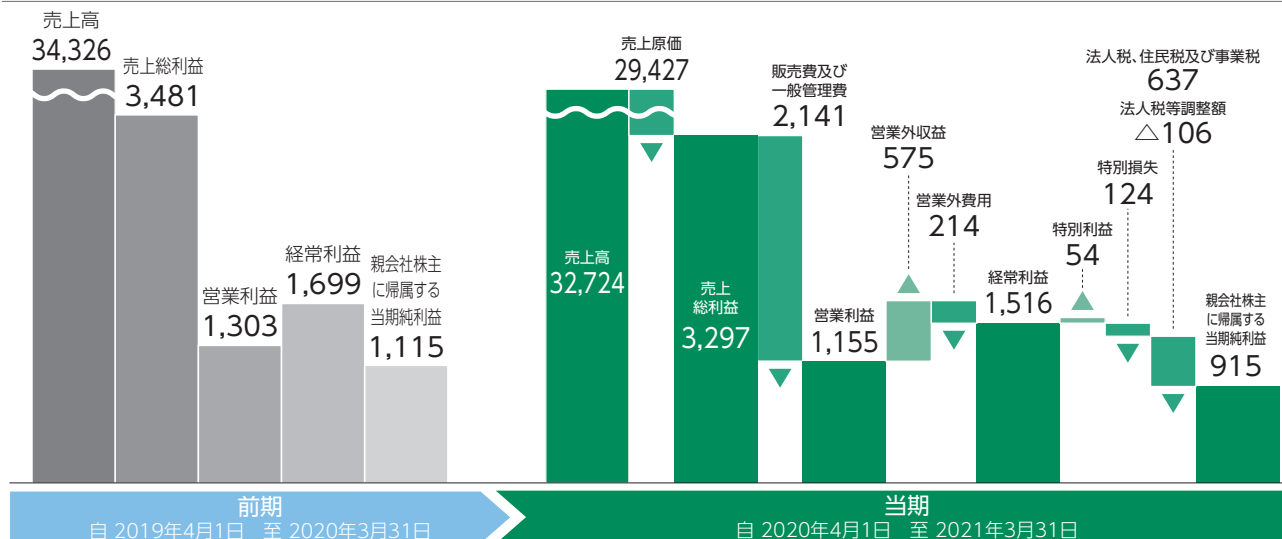


ウィングコンテナ

連結財務諸表

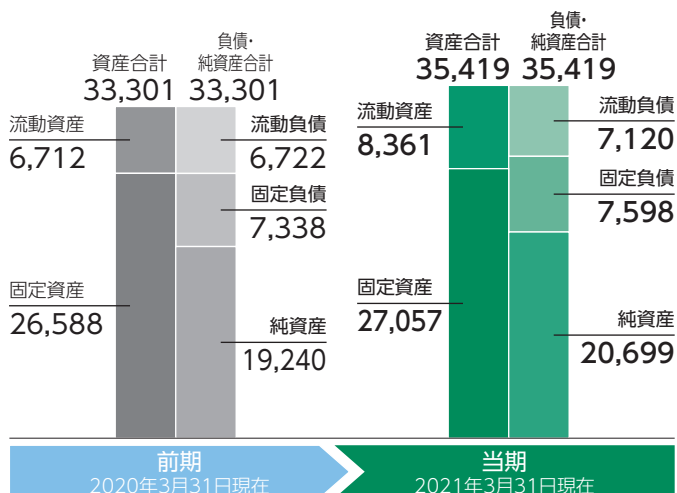
連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)



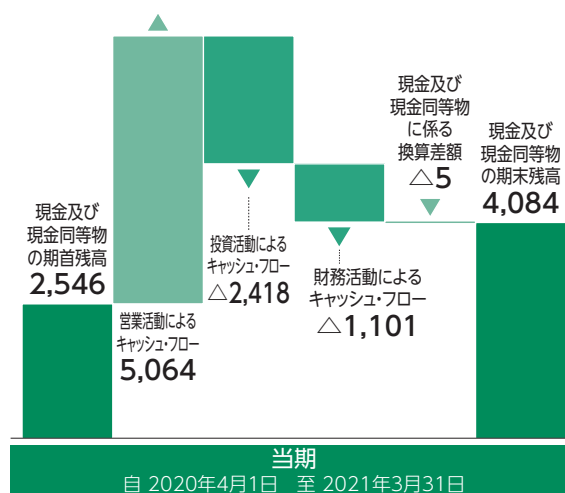
連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

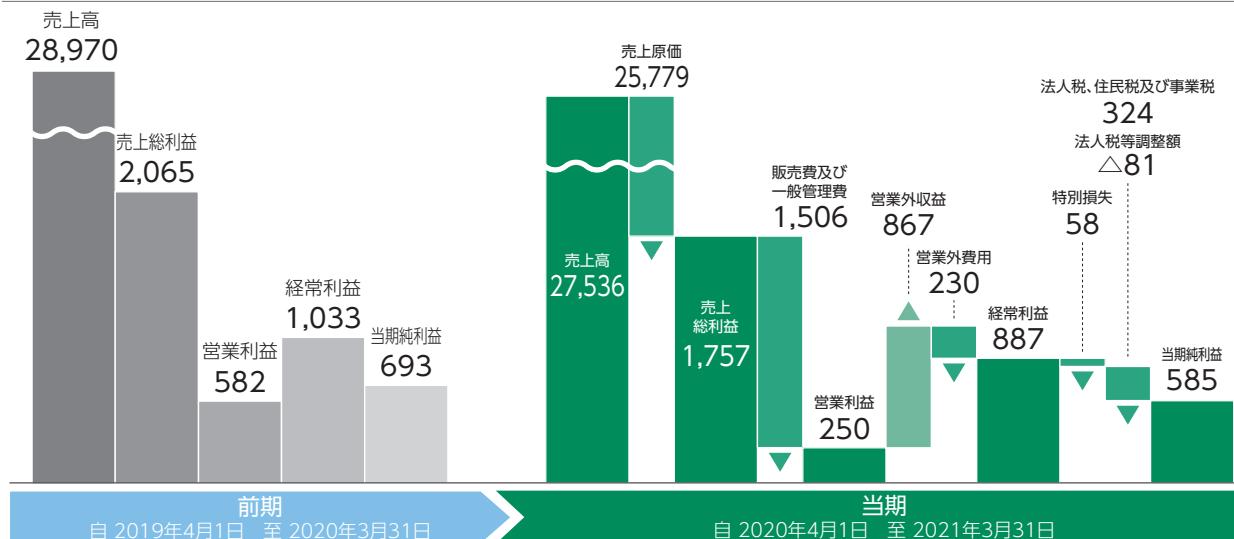
(単位:百万円)



単独財務諸表

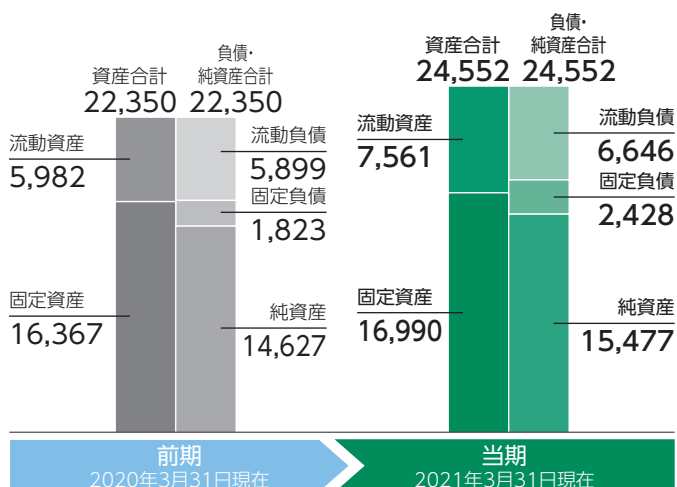
単独損益計算書(要旨)

(単位:百万円)



単独貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)



詳細な財務情報は、当社ホームページ『IR情報』のページをご参照ください。



<https://www.jot.co.jp/ir/>

日本石油輸送 IR

検索

株式の状況／JOTグループ (2021年3月31日現在)

株式の状況

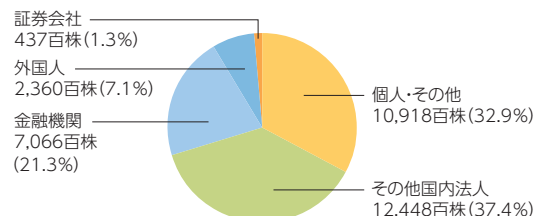
発行可能株式総数	6,000,000 株
発行済株式の総数	3,322,935 株
	(自己株式12,347株を含む)
株主数	2,780 名

大株主

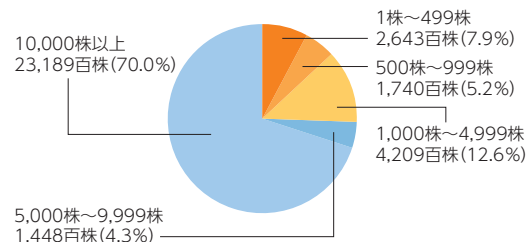
株 主 名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
ENEOSホールディングス株式会社	9,644	29.13
光通信株式会社	1,403	4.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,337	4.04
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,285	3.88
小野寺 毅	824	2.49
株式会社三井住友銀行	788	2.38
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	693	2.09
日本車輛製造株式会社	669	2.02
日本石油輸送グループ従業員持株会	491	1.48
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	475	1.44

株式の分布

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



JOTグループ

株式会社エネックス

石油製品・高圧ガス等の貨物自動車輸送、
油槽所等の基地運営業務

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号
TEL:03-5759-6701(代表)

近畿石油輸送株式会社

石油製品・高圧ガス等の
貨物自動車輸送

〒510-8002 三重県四日市市天力須賀新町1番地20
TEL:059-363-2500(代表)

株式会社ニチユ

産業機材、車両等の販売および賃貸、
保険代理業

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号
TEL:03-6417-9591(代表)

株式会社ニュージェイズ

石油化学製品・高圧ガス等の貨物自動車輸送、
自動車整備事業

〒510-0958 三重県四日市市小古曽三丁目2番15号
TEL:059-349-1800(代表)

株式会社JKトランス

石油製品・石油化学製品等の
貨物自動車輸送

〒210-0856 川崎市川崎区田辺新田1番5号
TEL:044-328-6625(代表)

会社概要

(2021年3月31日現在)

会社概要

商号	日本石油輸送株式会社
設立	1946年(昭和21年)3月27日
本社所在地	〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号 (ゲートシティ大崎 ウエストタワー16階) TEL:03-5496-7671(代表)
資本金	16億61百万円
従業員数	連結1,499名、単体166名
主要取引銀行	(株)三井住友銀行、(株)三菱UFJ銀行、(株)みずほ銀行
主要な事業所	北海道支店(札幌)・東北支店(仙台)・ 関東支店(川崎)・中部支店(名古屋)・ 関西支店(大阪)・九州支店(福岡)・ シンガポール支店(シンガポール共和国) および新潟事業所
主要な事業内容	1. 石油製品(ガソリン・灯油等)の鉄道タンク車輸送・貨物自動車輸送 2. 高圧ガス(LNG等)の鉄道コンテナ輸送・貨物自動車輸送および複合一貫輸送 3. 石油化学製品等の鉄道コンテナ輸送・貨物自動車輸送ならびに国内および国際複合一貫輸送、各種コンテナのリース 4. 鉄道用冷蔵・冷凍コンテナ等のレンタル・リース 5. 太陽光発電事業

役員

(2021年7月1日現在)

取締役

代表取締役会長	栗本 透
代表取締役社長 社長執行役員	原 昌一郎
取締役 専務執行役員	グループ安全推進部管掌 石油輸送事業部長兼高圧ガス輸送事業部長 兼石油輸送事業部石油1部長 高橋 文弥
取締役 常務執行役員	化成品・コンテナ輸送事業部長 武本 修
取締役 執行役員	人事部、経理部、情報システム部管掌 経営企画室長兼人事部長 岡崎 基太
取締役 執行役員	総務部、資産運用部管掌 総務部長兼資産運用部長 松井 克浩
取締役	株式会社エネックス代表取締役社長 田長丸雅司
社外取締役	草刈 隆郎
社外取締役	坂之上洋子

監査役

常勤監査役	高野 潤
監査役	吉田 秀穂
社外監査役	佐野 裕
社外監査役	齊藤 貴一

取締役を兼務しない執行役員

執行役員	石油輸送事業部副部長兼 グループ安全推進部長 竹本 明彦
執行役員	内部監査室長 青野 滋
執行役員	化成品・コンテナ輸送事業部コンテナ部長 花岡 雅弘

単元未満株式のお取扱いについて

単元未満株式とは、当社株式の売買単位である1単元(100株)未満(1~99株)の株式のことであり、市場での売買ができませんが、そのお取扱いには、以下の方法がありますので、ご案内いたします。

1.買取制度

ご所有の単元未満株式は、当社に対し買取(現金化)の請求をすることができます。

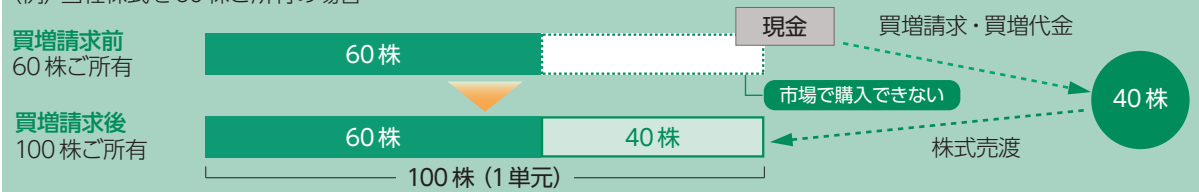
(例) 当社株式を120株ご所有の場合



2.買増制度

ご所有の単元未満株式の数とあわせ、当社に対し1単元(100株)になる数の株式の買増を請求することができます。

(例) 当社株式を60株ご所有の場合



お手続きの詳細につきましては、株主様の口座のある証券会社等または株主名簿管理人である三井住友信託銀行にお問合せください。なお、当社では買取請求および買増請求にかかる**手数料を無料**とさせていただきますが、証券会社等の口座管理機関へ支払う手数料につきましては、株主様の口座のある証券会社等へご確認ください。

【株主名簿管理人 三井住友信託銀行】

- 電話【フリーダイヤル】 0120-782-031 (平日 9:00~17:00)
- ホームページアドレス <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部



日本石油輸送株式会社

〒141-0032

東京都品川区大崎一丁目11番1号(ゲートシティ大崎 ウエストタワー16階)

TEL:03-5496-7671(代表)

<https://www.jot.co.jp/>



この冊子は、適切に管理された森林から生まれたFSC® 認証紙、植物油インキおよび有害な廃液の出ない水なし印刷で印刷しています。